

案件1 交通不便地域(彼方上地区)におけるタクシーを活用した 実証実験の実施について

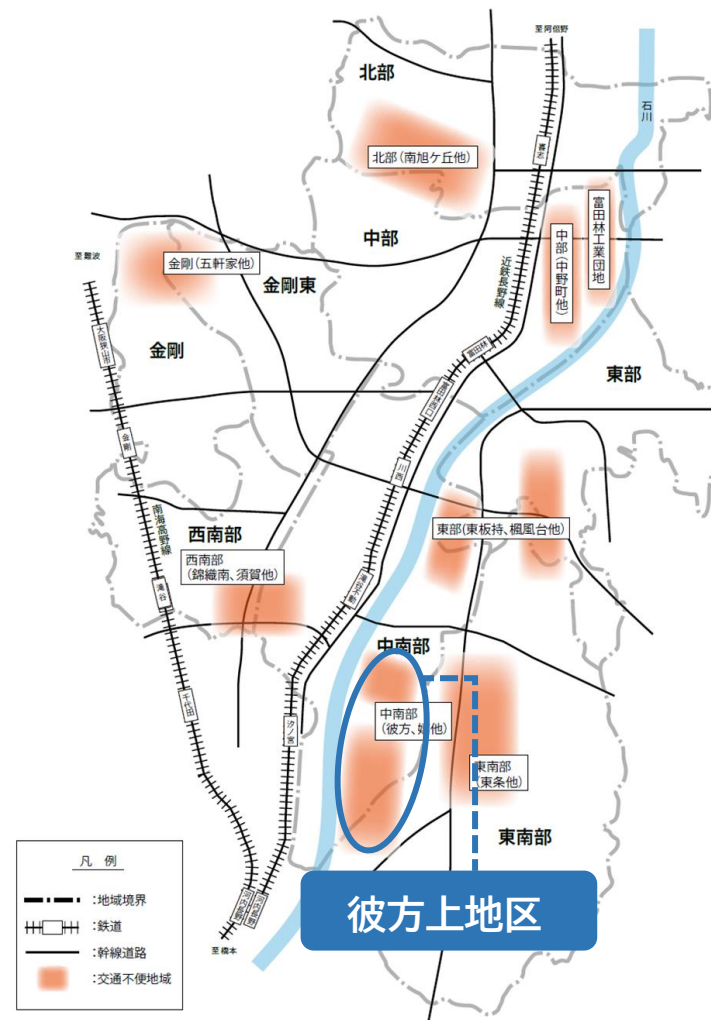
令和6年度 第3回
富田林市交通会議 資料1

- 1-1 彼方上地区とは
- 1-2 第1回実証運行の結果について
- 1-3 第2回実証運行に向けた運行計画(たたき台)について
- 1-4 令和6年度第1回交通会議での意見
- 1-5 既存のタクシーを活用した実証実験の概要(案)について
- 1-6 今後のスケジュールについて

1-1 彼方上地区とは

彼方上地区について

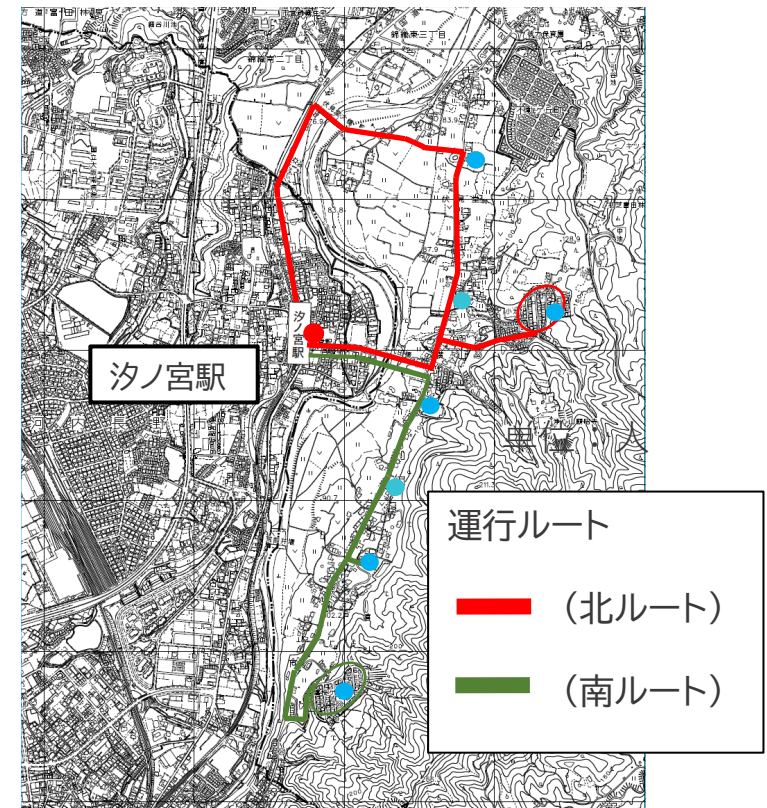
- ✓ 主催:彼方上7町会まちづくり協議会
- ✓ 活動地域:彼方上7町会(大字嬉、横山、伏見堂)
- ✓ 人口:1,357人(令和6年3月時点。以下同じ。)
- ✓ 世帯数:699世帯 高齢化率:42.6%
- ✓ 地域の特徴:高齢化により、移動困難者が急増している。
- ✓ 坂道や狭い道が多く、徒歩移動が困難な方が急増している。



1-2 第1回実証運行の結果について

第1回実証運行の結果について

項目	内容
名称(愛称)	上セブン号(よみ:かみせぶんごう)
運行事業者	大阪第一交通株式会社
運行ルート	右図のルートを基本として運行
運行方式	定時定路線型
運行期間	令和4年11月1日～令和4年12月28日
運行日時	毎日 AM9:00～PM6:00
料金	大人300円(小児は半額)
支払方法	現金



第1回実証運行ルート全体

1-2 第1回実証運行の結果について

第1回実証運行の結果について

乗車人数(11月・12月分)

単位：人

	南ルート	北ルート左回り	北ルート右回り	合計
合計人数	180	95	56	331
1運行あたり人数	0.44	0.23	0.14	0.27

※ここでの1運行とは、出発地から出発地に戻るまでの人数

(例：【南ルート】汐ノ宮駅前～嬉桜ヶ丘自治会館～汐ノ宮駅前までの乗車人数)

曜日別乗車人数(11月・12月分)

単位：人

	月	火	水	木	金	土	日	祝日	全日
午前便(1運行あたり)	0.33	0.34	0.27	0.17	0.58	0.13	0.13	0.00	0.28
午後便(1運行あたり)	0.21	0.26	0.23	0.19	0.38	0.38	0.23	0.09	0.27
午前・午後(1運行あたり)	0.26	0.29	0.24	0.18	0.45	0.29	0.20	0.06	0.27

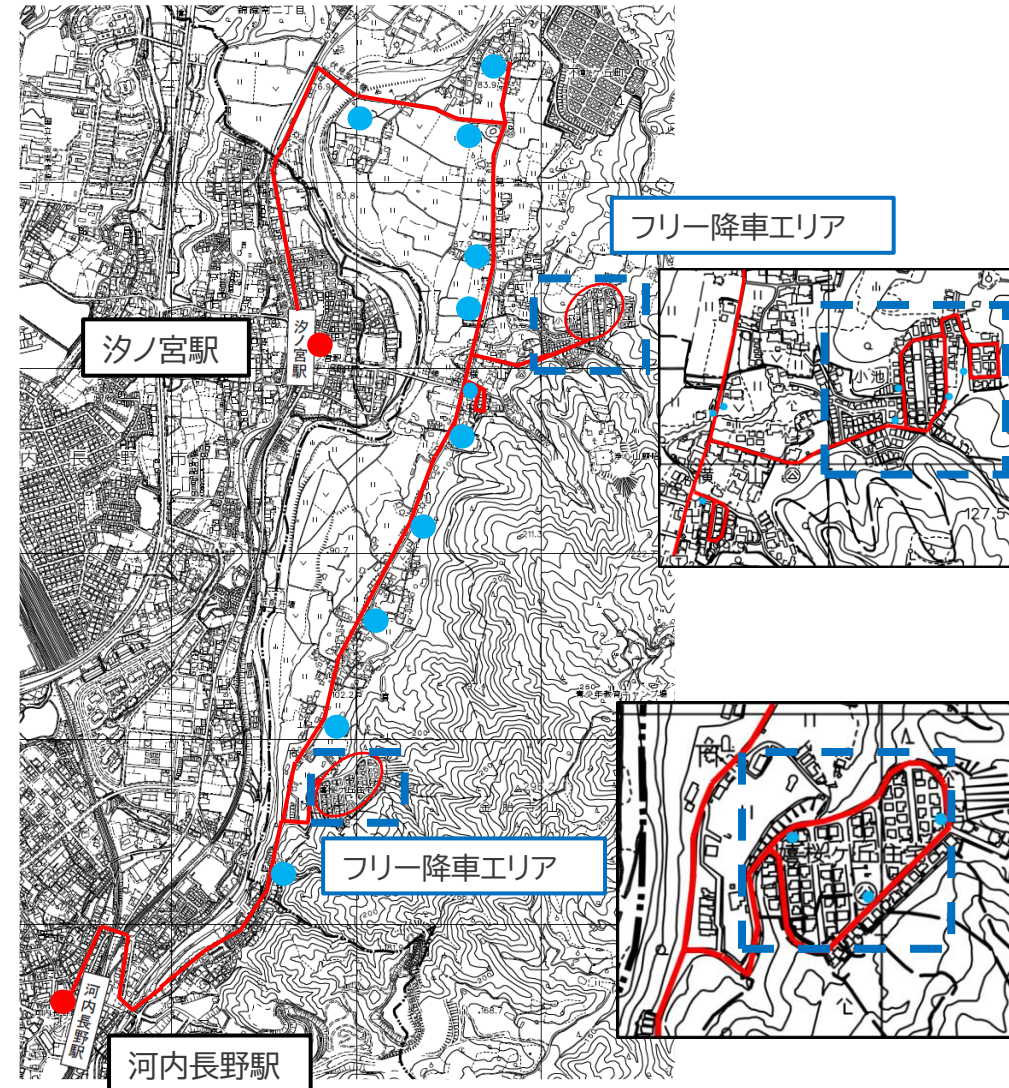
収支率(11月・12月分)

	月	火	水	木	金	土	日	祝日	全日
1日あたり	5.24%	5.95%	4.99%	4.04%	9.25%	5.97%	4.02%	2.44%	5.56%

※月～金は祝日を除く

1-3 第2回実証運行に向けた運行計画(たたき台)について

項目	内容
目的	実証運行により、彼方上地区における公共交通の実現可能性を検証し、かつ、公共交通に対する機運を高めながら、本格運行に向けての判断材料とすることを目的とする。
運送許可	道路運送法第21条第2号による許可
車両	中型タクシー(乗客4人乗り)又は同等以上の定員を確保できる車両(1台)
運行ルート	右図のルート(案)を想定。 また、一部のエリアで停留所以外での降車(フリー降車)を可能とする。
運行方式	定時定路線型
運行期間	約2か月を想定
運行日時	運行日を木曜・日曜を除く週5日、運行時間帯をAM9:00～AM12:00及びPM2:00～PM5:00の運行を想定。
運行頻度	約1時間間隔を想定
料金	大人300円(小児は半額)を想定



第2回実証運行ルート全体(案)

1-4 令和6年度第1回交通会議での意見

主な意見

- アンケートで一番要望が多かった河内長野駅へ運行することにより、乗車人数は増えるかもしれないが、ルートを変更しただけで、目標の乗車率に届くのか疑問である。
- 定時定路線方式以外にも、オンデマンド方式や自動運転技術など、公共交通に関する技術は進歩しているので、幅広く検討をしてもよいのではないか。
- 外出を希望する方の需要に応えられるような方法を検討してほしい。また、並行して機運の醸成は地域の皆さままで引き続きお願いする。
- 第1回実証運行では地域の中で運行を促進していこう、みんなに乗ってもらおうといった組織づくりがされていなかったことが課題であると考えている。

これらの意見を踏まえて

第2回実証運行に対する需要を見極め、
さらなる機運醸成を図ることを目的とした、
既存のタクシーを活用した実証実験を行う。

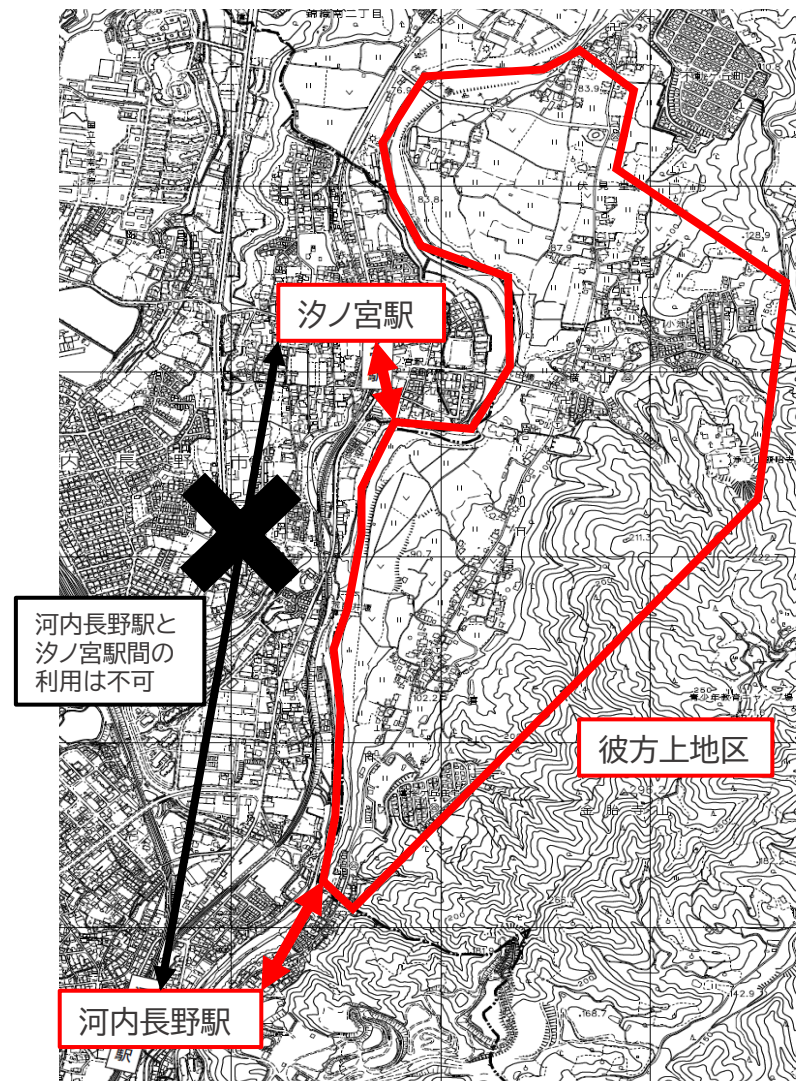
その結果を基に、第2回実証運行に向けた運行計画の内容の検討及び利用促進のための組織づくりを行っていく。

1-5 既存のタクシーを活用した実証実験の概要(案)について

項目	内容
目的	既存のタクシーを活用した実証実験を行うことで、乗合タクシーに対する需要を見極め、乗合タクシーのさらなる機運醸成を図ることを目的とする。
利用方法	彼方上地区の住民に対して、事前にタクシー券を配布する。利用時、通常通りタクシーを利用してもらい、支払い時にタクシー券を乗務員に渡すことにより、運賃を割引く方法(1回の乗車につき、1人1枚使用可能)
エリア	河内長野駅または汐ノ宮駅と彼方上地区との相互区間及び彼方上地区内を発着とする場合のみ適用
期 間	約2か月(時期についてはまちづくり協議会で決定)
時 間	午前9時～午後5時
料 金 (利用者負担額)	1人につき、大人300円(障がい者・小児は半額)
市負担額 (一例)	タクシー運賃が1,000円、大人1人利用の場合 1,000円－300円＝700円(市負担額)

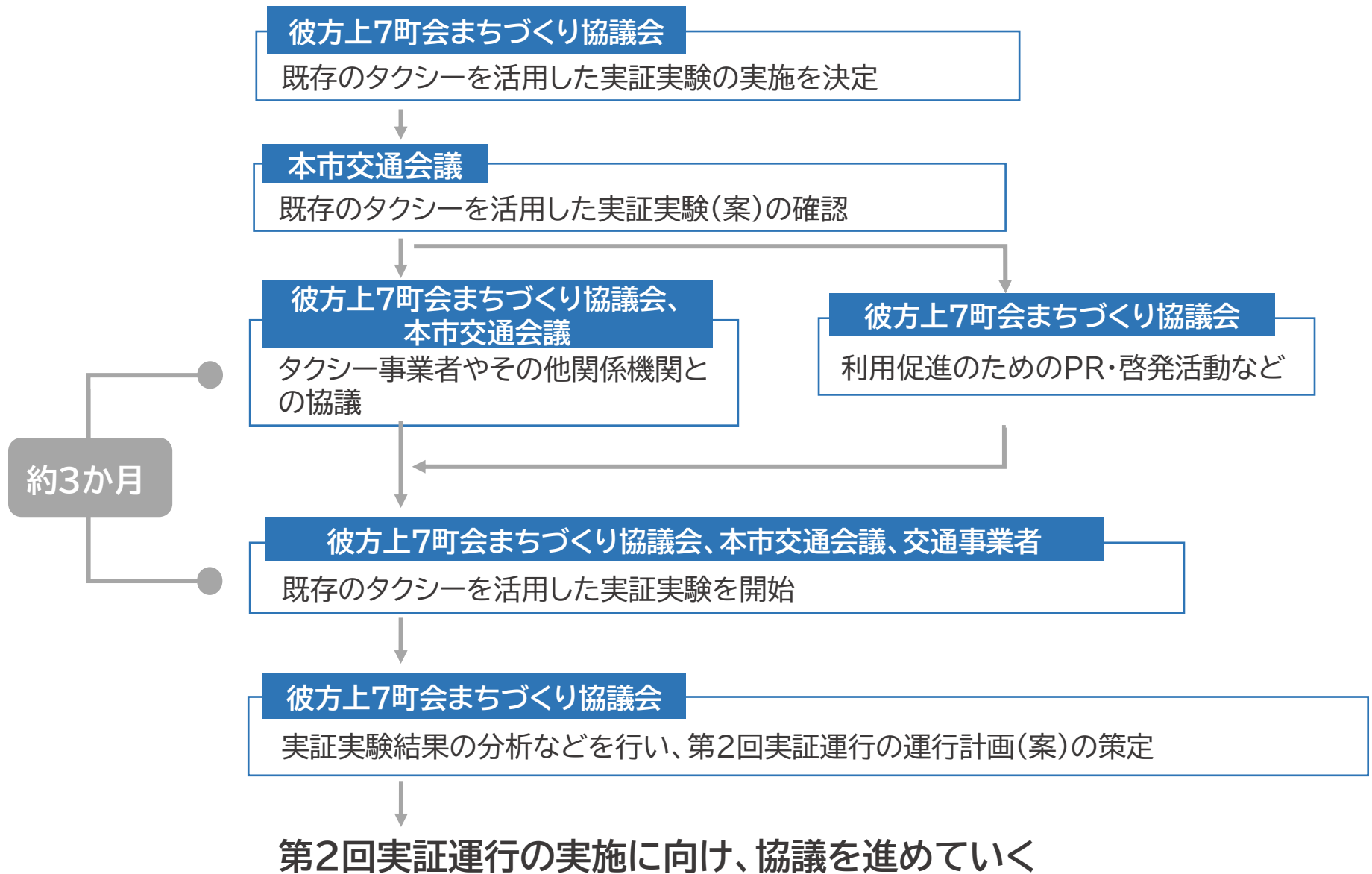
※ 上記の条件を満たさない場合は、適用外となる。

※ 今後、タクシー事業者との調整により内容が変更となる可能性がある。



実証実験エリア(案)

1-6 今後のスケジュールについて



※フロー図については、彼方上7町会まちづくり協議会、本市交通会議、及び交通事業者やその他関係機関との協議により、変更となる場合がある。